

令和元年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち						
施策No.	17	施策名	水道水の安定供給						
主管課名	水道課								
関係課名									
施策が目指す すがた	・安全でおいしい水が、将来にわたって安定的に供給されています。								
施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民・事業所	・水道水を大切に使います。							
	行政	・水質検査、水道施設の維持管理を行い、安全な水道水を供給します。 ・水道の利用促進を図るため、水道に関する情報提供を行います。 ・老朽施設、管路の更新を継続的に行うため、経営の効率化、健全化に努めます。							
	その他(地域)								
施策を実行するうえで基本となる事業	基本事業①	水道施設の整備							
	基本事業②	安定した水道事業経営							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	822,675	849,577	1,192,455	777,100	809,668	778,254
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	336,530	399,143	745,079	339,221	360,345	274,135
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	486,145	450,434	447,376	437,879	449,323	504,119
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	37	39	39	39	39	40	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	18,000	17,960	17,960	17,960	17,960	17,980	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	78,876	75,091	73,834	72,325	72,056	78,285	
F. トータルコスト（B+E）		千円	901,551	924,668	1,266,289	849,425	881,724	856,539	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	18,888	19,688	27,922	18,354	19,217	18,676
	G. 事業費（定義式：B/人口）								
	同 上		円	1,811	1,740	1,729	1,708	1,710	1,879
	H. 人件費（定義式：E/人口）								
同 上		円	20,699	21,428	29,651	20,062	20,928	20,554	
I. トータルコスト（定義式：F/人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672

基本事業概要シート①

施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給
基本事業名	①水道施設の整備		
基本事業の目的(意図)	老朽化した施設や管路を計画的に更新し、水道水が安定供給されています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【簡易水道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東蔵簡易水道の老朽管(配水管)170mを更新しました。 <p>【増補改良事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用し、基幹管路409m(送水管409m)を耐震管に更新しました。 ・老朽管790mの更新を行いました。 <p>【拡張事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道宇奈月大沢野線の新設にあわせて配水管149mを布設しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
管路の更新率	%	0.60	0.70	0.60	0.80 1.10	0.85 0.77	0.90 0.79	0.95 0.36	1.00
水道管耐震化率	%	10.4	12.9	13.5	18.0 14.1	19.0 14.7	20.0 15.5	21.0 15.9	22.0
基幹管路(導水管、送水管、配水本管)の耐震化率 (追加指標)	%	—	2.1	2.5	— 2.5	— 7.2	12.5 13.1	16.2 15.2	20.1

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	簡易水道事業特別会計	○ 簡易水道事業	15,910,000	15,291,488	618,512	B	水道課
2	水道企業会計(資本的支出)	○ 増補改良事業	226,461,100	226,461,100	0	A	水道課
3	水道企業会計(資本的支出)	○ 拡張事業	70,000,000	32,382,900	37,617,100	B	水道課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			312,371,100	274,135,488	38,235,612		

基本事業概要シート②

施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給
基本事業名	②安定した水道事業経営		
基本事業の目的(意図)	計画的な料金の見直しを行うなど経営の合理化に努めています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【水道管理運営事業・簡易水道管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上水道及び簡易水道施設の維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び水量器の取替を行いました。 ・使用料の請求及び徴収業務を行いました。 <p>【水道管理運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の適正管理と業務の効率化を図ることを目的に構築した水道施設管理マッピングシステムを、運用開始しました。 ・「うおづのうまい水」が3年連続モンドセレクション最高金賞を受賞しました。なお、年間販売数は前年度比2,518本減の19,961本となりました。 ・上水道及び簡易水道料金について、令和元年10月から15%及び20%の増額改定を行いました。 ・簡易水道事業について平成31年4月から公営企業会計方式を実施しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
料金回収率	%	107.5	100.2	108.9	106.0 106.5	107.0 108.1	108.0 107.6	109.0 107.6	110.0
給水人口一人当たりの企業債残高	円	103,276	101,352	105,424	110,000 118,782	108,000 117,816	107,000 117,979	106,000 116,207	105,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	簡易水道事業特別会計	○ 簡易水道管理事業	41,863,000	39,749,544	2,113,456	B	水道課
2	水道事業会計(収益的支出)	○ 水道管理運営事業(ボトルドウォーター事業分除く。)	490,351,000	464,369,079	25,981,921	B	水道課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			532,214,000	504,118,623	28,095,377		

施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給
令和元年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水道管路の更新率は、令和元年(平成31年)度は0.36%にとどまり、年更新率1%に満たない状況が続いています。 ◆生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用して基幹管路409m(送水管409m)を耐震管に更新したことにより、基幹管路(導水管、送水管、配水本管)の耐震化率は、前年度比2.1ポイント増の15.2%と向上しましたが、県内10市の中では下位にあります。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆料金回収率は、106.5%(平成30年度:107.6%)で100%を超えており、営業活動に必要な経費は、利用料金で賄われています。 ◆建設改良費に対する企業債の充当率を段階的に70%以下に抑制することを目指していましたが、令和元年度の充当率は79%であり目標を達成できませんでした。 ◆料金収入に対する企業債元利償還金の比率は56.2%(平成30年度:54.3%)と高い状況にあります。企業債元利償還金が多額であり経営を圧迫していることが指標からみとれます。 ◆水道料金は、令和元年10月に増額改定を行いました。消費税増税分を除く本体部分の改定としては、平成10年4月以来約20年ぶりの改定です。家庭用料金(20㎡/月あたり)では、県内10市の中では5番目の低さです。 ※参考:3人世帯の標準的な使用水量20㎡/月の水道料金 魚津市3,080円、黒部市1,642円、滑川市1,886円、県内10市平均3,043円(令和元年(平成31年)度末現在) 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和元年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①水道施設の整備】</p> <p><簡易水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆東蔵簡易水道の老朽管170mを更新しました。 <p><増補改良事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用して送水管409mを耐震管に更新しました。 <p><拡張事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県道宇奈月大沢野線の新設にあわせて配水管149mを布設しました。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <p><水道管理運営事業・簡易水道管理事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆簡易水道事業の公営企業会計への移行を進めるため、「固定資産調査及び評価等業務」を委託し資産状況の把握を行いました。 ◆「うおづのうまい水」が3年連続モンドセレクション最高金賞を受賞しました。 ◆上水道及び簡易水道料金について、令和元年10月から15%及び20%の増額改定を行いました。3人世帯の標準的な使用水量20㎡/月の水道料金が2,640円から3,080円(消費税率アップを含む)となります。(県内10市中5位) ◆簡易水道事業について平成31年4月からの公営企業会計方式を実施しました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「生活基盤施設耐震化等交付金事業」を活用して、耐用年数を超える基幹管路(送水管、配水本管)2,167mの整備・耐震化を進めます(平成29年度から令和6年度(8か年))。 ◆東蔵簡易水道施設の更新を進めます(平成27年度から令和4年度(8か年))。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆経営状態は、黒字ではあるものの、企業債に依存した状況であることから、95%としてきた建設改良費に対する企業債の充当率を段階的に70%以下に抑制し、企業債残高の適正化を図ります。 ◆水道施設管理マッピングシステムにより、管網解析やアセットマネジメント(資産管理)を行い、長期的視点による水道施設の適正管理と業務の効率化を図ります。 ◆簡易水道料金に関しては、上水道料金体系への移行に向けた地元説明を行い、理解を得ていきます。 ◆水道利用者の利便性向上のため、各種手続きの電子申請化を進めます。 ◆コンビニ収納を開始(令和3年1月予定)し、水道利用者の料金支払いの利便性を向上するとともに、未収金の抑制を図ります。 			